

令和6年3月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,910億円（対前年同月比2.0%の減少、比率ベース：2ヵ月連続の減少）、輸入総額は980億円（同23.2%の減少、2ヵ月連続の減少）であった。差引額は930億円（同38.1%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「プラスチック」、「写真用・映画用材料」などが増加したものの、「加熱用・冷却用機器」、「原動機」、「電気計測機器」などは減少した。輸入は「アルミニウム及び同合金」、「自動車の部分品」などが増加したものの、「がん具及び遊戯用具」、「液体天然ガス」、「科学光学機器」などは減少した。

地域別では、輸出は「EU」が減少、「アジア」、「アメリカ」は増加した。輸入は「アジア」、「アメリカ」が減少、「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,910億円	▲2.0%	980億円	▲23.2%	930億円	+38.1%
	2ヵ月連続の減少		2ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) プラスチック	73億円	+63.2%	輸入	増加品目	(1) アルミニウム及び同合金	20億円	+51.5%
		(2) 写真用・映画用材料	58億円	+57.7%			(2) 自動車の部分品	26億円	+31.8%
		(3) 建設用・鉱山用機械	72億円	+31.4%			(3) 重電機器	18億円	+42.0%
	減少品目	(1) 加熱用・冷却用機器	26億円	▲74.7%		減少品目	(1) がん具及び遊戯用具	12億円	▲90.2%
		(2) 原動機	269億円	▲9.4%			(2) 液化天然ガス	54億円	▲50.0%
		(3) 電気計測機器	28億円	▲39.7%			(3) 科学光学機器	10億円	▲70.8%
主要地域増減	EUが減少、アジア、アメリカは増加				主要地域増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加			

（参考）ドルレートは、149.45円（前年同月比10.7%、14.48円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	13億円	+70.5%	34億円	▲3.2%	▲21億円	▲24.3%
	2ヵ月連続の増加		2ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	3億円	5.1倍	輸入	増加品目	(1) パルプ	2億円	+74.9%
		(2) 精油・香料及び化粧品類	3億円	3.5倍			(2) 無機化合物	1億円	2.3倍
		(3) 金属鉱及びくず	3億円	2.2倍			(3) 有機化合物	4億円	+3.3%
	減少品目	(1) 写真用・映画用材料	3億円	▲9.7%		減少品目	(1) とうもろこし	14億円	▲27.9%
		(2) 有機化合物	1百万円	▲91.7%			(2) 魚介類及び同調製品	22百万円	▲73.7%
		(3) 自動車の部分品	7百万円	▲53.6%			(3) バッグ類	—	全減
主要地域増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少				主要地域増減	EUが減少、アメリカ、アジアは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	333億円	▲15.8%	15億円	▲29.5%	318億円	▲15.0%
	18ヵ月ぶりの減少		3ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	51億円	+45.4%	輸入	増加品目	(1) 粗鉱物	1億円	全増
		(2) 電気計測機器	2億円	+40.4%			(2) 鉄鋼	5億円	+10.6%
		(3) 家具	1億円	+92.1%			(3) お茶	18百万円	2.6倍
	減少品目	(1) 自動車	175億円	▲24.2%		減少品目	(1) 飼料	—	全減
		(2) 無機化合物	7億円	▲58.7%			(2) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
		(3) 二輪自動車類	20億円	▲30.6%			(3) 有機化合物	1億円	▲36.6%
主要地域増減	EUが減少、アメリカ、アジアは増加				主要地域増減	EU、アジア、アメリカが減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし